

本時のねらい

身の回りのものの大きさに着目し、適切に長さの単位を選択することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・家にある物を写真で取り、その長さを考えることを通して、日常にあるものを算数的な見方・考え方を活かして見たり、考えたりする力の育成をねらった。
- ・取り組んだワークシートを互いに見せ合いながら自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることで、自分の考えを深めることをねらった。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC (iPad)
- ・授業支援アプリ (ロイロノート)
- ・電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○提示された例題 (はがきの写真) の長さの単位は、mm cm m のどの単位が適切か考える。 ○学習課題「それぞれの長さにあふさわしい単位を考えよう」をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前日に、家にあるもののうち、mm cm m のそれぞれの単位で測る物の写真をとって長さを図り、ロイロノートを活用して提出させる。 ・電子黒板を使って活動の説明をすることで、本時の学習課の理解を深められるようにする。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートを活用し、「mm」「cm」「m」に分類するワークシートと児童が撮った写真を、全員に配布する。 ○写真に写っている物の長さがどの単位で表すのがふさわしいかを考えて、「mm」「cm」「m」に分類する。 ○取り組んだワークシートを基に、クラスの友達と交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのデータ送付機能を活用し、児童が撮った写真を送付する。 ・ロイロノートのワークシートを用いて、写真を単位が書かれている枠に写真を移動させる。 ・取り組んだワークシートを解答共有し、交流することで自分の考えを伝えたり、友達の考えを知ったりする。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○50m 走のコースの写真を提示し、「50m」「5000cm」のどちらがふさわしいか、それぞれ表し方の良さを考える。 ○本時のふりかえりを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2枚の写真を電子黒板に映すことで、同じ点や異なる点を比較しやすくする。 ・本時で学んだことや、感じたこと、今後に活かしたいことなどを書いて、ロイロノートの「提出箱」に提出する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：児童が家で撮影して答えとなる長さを記載した写真



写真2：授業支援アプリを活用して、写真を単位ごとに分類している場面



写真3：各写真をワークシート上に分けたものを基に児童が交流を行う場面

児童生徒の反応や変容

- ・事前に児童が集めてきた写真を問題として取り入れることで夢中になって活動する姿が多かった。
- ・自分の取り組んだワークシートをクラスの友達と積極的に見せ合う児童が多く見られた。その中で自分の考えを相手に発信したり、相手の考えを聞いたりすることで、自分の考えをより深いものにしようとする姿も見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

具体物の写真を見ることで、長さの単位を答えやすくとともに、それぞれの長さの単位の量感覚も養うことができた。また、タブレットでの操作が簡単で分かりやすいため、3年生の児童にとって、より意欲的に問題に取り組むことができた。事前に児童が撮影した写真を学習の中で使うことは、児童が学習を楽しむ一つの要素となった。